

平成30年9月10日

杉並区議会議長  
大熊 昌巳 様

災害対策特別委員会  
委員長 金子 けんたろう

### 災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 平成30年6月11日

##### (1) 報告聴取

##### ア 全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達訓練について

全国瞬時警報システム（Jアラート）の情報伝達を確実にを行うため、今年度については年4回（5月16日、8月29日、11月21日、2月20日）、午前11時頃に防災行政無線塔等を用いた全国一斉情報伝達訓練を行うとのこと。

##### イ 地震に関する地域危険度測定調査（第8回）の結果について

東京都震災対策条例に基づき、概ね5年ごとに実施している「地震に関する地域危険度測定調査（第8回）」の結果が2月15日に公表されたとのこと。

##### (ア) 目的

地震災害に対する都民の認識を深め、防災意識の高揚に役立て、震災対策事業を実施する地域を選択する際に活用するため。

##### (イ) 測定方法

各地域における地震に関する危険性を、建物倒壊危険度、火災危険度及び災害時活動困難度を加味した総合危険度で測定し、相対評価により5段階にランク分けした。

##### (ウ) 調査結果の概要（杉並区）

建物倒壊危険度については、4、5ランクはなく、3ランクに該当する地域が5カ所あるとのこと。火災危険度について、高円寺北3丁目が4ランクから5ランクの評価に上がったが、調査方法の変更により、焼失棟数算出に係る延

焼時間が6時間から12時間に延長となったことが要因と考えるとのこと。また、災害時活動困難度については、5ランクの評価となった地域が11カ所あるが、今回の調査から、避難、消火活動等の到達地点とする道路を「幅員6メートル以上の全ての道路」から「幅員12メートル以上の外郭道路に連続的につながる6メートル以上の道路」に変更したことから、相対的にランクが上昇したものと考えるとのこと。

総合危険度については、5ランクと評価された地域は、天沼1丁目、高円寺北3丁目、方南1丁目、成田東1丁目の4カ所とのこと。

#### ウ 平成30年度杉並区・第四消防方面合同水防訓練の開催結果について

杉並区・第四消防方面合同水防訓練を5月19日に区立下高井戸おおぞら公園で開催したとのこと。

##### (ア) 目的

台風及び集中豪雨等の雨季を前にして、洪水時の被害軽減を図るため、水防部隊の実践的運用と水防活動の習熟を図り、水防体制の万全を期することを目的とするとのこと。

##### (イ) 訓練の概要

消防庁航空隊ヘリによる上空からの監視、神田川を活用した救助訓練等を実施したとのこと。

##### (ウ) 参加者

災害時支援ボランティアや中学生レスキュー隊、町会などの地域の方々を初め、消防団、消防署、区職員などが参加したとのこと。今年は第四消防方面との合同訓練として、杉並、荻窪消防署に加え、中野区、新宿区の消防署が参加したとのこと。

#### エ 避難場所（平成30年度改定）の公表について

東京都震災対策条例に基づき、概ね5年ごとに実施している区部の震災時における避難場所及び避難道路等の指定が改定され、平成30年6月8日に公表されたとのこと。

##### (ア) 杉並区の概要

避難場所の指定数は、前回から変更はなく19カ所とのこと。

##### (イ) 杉並区の特徴

前回の改定から、大きな変更点はないとのこと。小規模建築敷地の除外等により避難場所の総面積は減少したが、避難場所周辺の耐震・不燃化等により避難有効面積は増加しており、避難計画人口の増加があるものの、一人当たりの避難有効面積は増加しているとのこと。

(ウ) 指定内容の広報

区ホームページ及び7月1日発行の「広報すぎなみ」に掲載する他、概要版パンフレットを、防災課、市街地整備課、区政資料室に設置予定とのこと。また、東京都都市整備局ホームページでも都民向けに広報を実施しているとのこと。